

民主党政権も見抜けなかった厚労省の不正統計



2019年
2月1日(金)

発行者
DAPPI

第67号

民主党政権で厚労大臣・副大臣・政務官を務めた現職国会議員一覧



長妻昭
(立憲民主党)
大臣:09年9月～10年9月



長浜博行
(立憲民主党)
副大臣:09年9月～10年9月



大塚耕平
(国民民主党)
副大臣:11年1月～11年9月



牧義夫
(国民民主党)
副大臣:11年9月～12年4月



西村智奈美
(立憲民主党)
副大臣:12年4月～12年12月



桜井充
(国民民主党)
副大臣:12年10月～12年12月



山井和則
(国民民主党)
政務官:09年9月～10年9月



足立信也
(国民民主党)
政務官:09年9月～10年9月



岡本充功
(国民民主党)
政務官:10年9月～11年9月



小林正夫
(国民民主党)
政務官:10年9月～11年9月



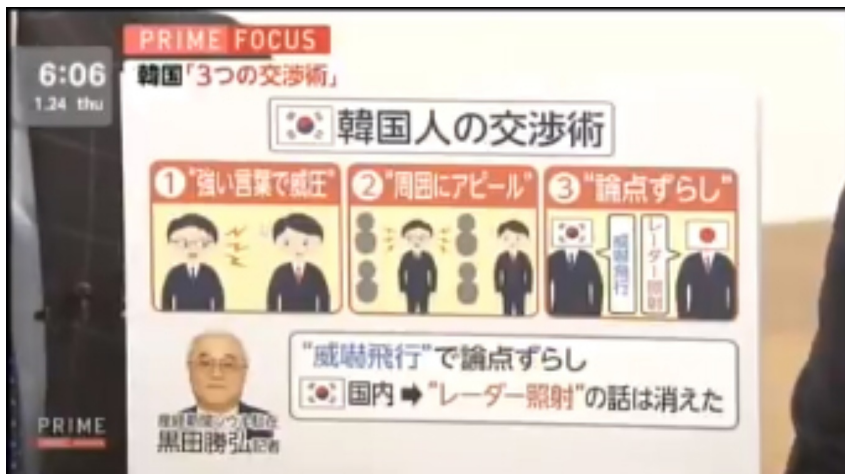
1月24日の厚労委員会では民主党政権で
厚労副大臣を務めた西村智奈美と
厚労政務官を務めた山井和則が質疑に立つも
謝罪は一切せずに現政権の責任と主張

厚労省の不正統計は民主党政権も見抜けなかった問題であるにも関わらず、
旧民主党議員達は現大臣に罷免要求するなど現政権の問題であるかのような印象操作。
政権側の問題であるなら民主党政権で厚労関連の役職を担った議員も責任を取るのが筋では？

報道回想録

注目のインターネット情報

プライムニュース（2019年1月24日 フジテレビ） 韓国人の交渉術



1月24日に放送されたプライムニュースで韓国人の交渉術が紹介された。
これは韓国在中36年の黒田氏（産経新聞記者）によるもので【強い言葉で威圧・周囲にアピールして理解者を増やす・論点ずらし優位に立つ】というもの。
これをレーダー照射に当てはめた場合、“自衛隊の低空飛行”は3番目の【論点をずらし】に当てはまり韓国内でのレーダー照射の話は消えたと指摘。
またレーダー照射問題で先に協議打ち切りを宣言した日本の対応は正しくて、韓国は自分が間違っていると世界に思われると焦ってる。日本は冷静に放置すべき」と語った。

日本は韓国の隣だが親密関係になる必要はない

DAPPI
@take_off_dress

武田邦彦「日本は韓国の隣だが親密な関係になる必要はない。隣でも友人にならないこともあるし、離れていても気の合う人と友人になるべきで日本はインドやトルコのような善良国と親しくすべき。韓国のニュースが頻繁に流れてるのも問題」

同感です。
一方的に日本を敵視する国と仲良くする必要はない



13:02 - 2019年1月25日

2019年1月25日（DHCテレビ 虎ノ門ニュース）